



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月2日

上場会社名 古河電池株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6937 URL http://www.furukawadenchi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳山 勝敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 高久 繁 TEL 045(336)5034
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	37,355	6.9	964	△31.3	1,163	△28.2	812	△27.3
26年3月期第3四半期	34,935	12.7	1,403	△6.6	1,621	1.2	1,118	11.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,592百万円 (△10.5%) 26年3月期第3四半期 1,778百万円 (43.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	24.79	—
26年3月期第3四半期	34.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	48,540	17,161	32.4
26年3月期	41,597	15,034	35.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 15,705百万円 26年3月期 14,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	6.00	6.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	4.9	2,900	8.5	2,900	0.6	2,000	0.5	61.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	32,800,000株	26年3月期	32,800,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	19,584株	26年3月期	16,769株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	32,782,014株	26年3月期3Q	32,783,321株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、消費税増税後の落ち込みから持ち直しつつあり、景気は緩やかな回復基調を続けております。また原油価格が下落していることも景気下支えの一因となっております。しかし、円安の影響により原材料の輸入価格が高騰していることや、産油国や新興国等の海外経済が減速する可能性もあり先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当グループの売上高は前年同四半期比2,420百万円(6.9%)増加の37,355百万円となりました。このうち海外売上高は12,752百万円となり、売上高に占める割合は34.1%となりました。

損益面については、主な原材料である鉛価格が上昇した影響などにより、営業利益は964百万円、経常利益は1,163百万円となりました。

また、特別損失として固定資産処分損10百万円を計上し、税金費用を考慮した結果、四半期純利益は812百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(以下「前期末」という)に比べて6,943百万円増加し48,540百万円となりました。流動資産は、前期末比1,941百万円増加し19,657百万円となり、固定資産は、前期末比5,002百万円増加の28,882百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現預金及び棚卸資産の増加によるものであります。

固定資産のうち、有形固定資産は、前期末比5,260百万円増加の24,147百万円となりました。この増加の主な要因は、減価償却による減少に比べ設備投資が上回ったことやインドネシアの子会社を連結子会社化したことによるものであります。

投資その他の資産は、前期末比272百万円減少し4,433百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比4,816百万円増加の31,378百万円となりました。流動負債は、前期末比3,292百万円増加の17,875百万円、固定負債は、前期末比1,523百万円増加の13,503百万円となりました。

有利子負債(短期借入金、長期借入金および社債の合計額)は、前期末比3,526百万円増加の12,110百万円となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本は、前期末比1,146百万円増加して15,705百万円となり、自己資本比率は、前期末の35.0%から32.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更を行っております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

①連結の範囲の重要な変更

前連結会計年度において非連結子会社でありましたPT. FURUKAWA INDOMOBIL BATTERY MANUFACTURINGは、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

前連結会計年度において持分法非適用の関連会社でありましたPT. FURUKAWA INDOMOBIL BATTERY SALESは、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が338百万円増加し、利益剰余金が218百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,097	2,920
受取手形及び売掛金	10,396	10,247
商品及び製品	1,498	1,981
仕掛品	2,358	2,718
原材料及び貯蔵品	651	779
繰延税金資産	247	275
その他	475	744
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	17,716	19,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,607	3,739
機械装置及び運搬具(純額)	3,946	4,098
工具、器具及び備品(純額)	456	494
土地	6,053	7,357
リース資産(純額)	267	537
建設仮勘定	4,554	7,919
有形固定資産合計	18,886	24,147
無形固定資産		
のれん	103	86
リース資産	16	9
その他	168	206
無形固定資産合計	288	302
投資その他の資産		
投資有価証券	2,750	2,611
繰延税金資産	1,820	1,636
その他	153	201
貸倒引当金	△18	△15
投資その他の資産合計	4,706	4,433
固定資産合計	23,880	28,882
資産合計	41,597	48,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,654	6,293
短期借入金	4,978	7,720
1年内償還予定の社債	100	—
リース債務	118	126
未払法人税等	325	89
未払消費税等	92	97
繰延税金負債	2	—
賞与引当金	559	325
役員賞与引当金	2	—
設備関係支払手形	347	887
その他	2,400	2,335
流動負債合計	14,582	17,875
固定負債		
長期借入金	3,505	4,390
リース債務	182	462
繰延税金負債	937	921
環境対策引当金	18	18
退職給付に係る負債	6,628	7,080
負ののれん	194	145
資産除去債務	8	9
その他	505	476
固定負債合計	11,980	13,503
負債合計	26,562	31,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	422	422
利益剰余金	11,596	11,993
自己株式	△6	△9
株主資本合計	13,651	14,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	713	1,105
繰延ヘッジ損益	△2	△25
為替換算調整勘定	402	630
退職給付に係る調整累計額	△205	△51
その他の包括利益累計額合計	907	1,659
少数株主持分	476	1,456
純資産合計	15,034	17,161
負債純資産合計	41,597	48,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	34,935	37,355
売上原価	26,718	29,485
売上総利益	8,217	7,869
販売費及び一般管理費	6,813	6,905
営業利益	1,403	964
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	59	67
負ののれん償却額	48	48
為替差益	74	66
その他	117	121
営業外収益合計	308	314
営業外費用		
支払利息	70	88
持分法による投資損失	—	8
その他	20	18
営業外費用合計	90	115
経常利益	1,621	1,163
特別損失		
固定資産処分損	2	10
特別損失合計	2	10
税金等調整前四半期純利益	1,618	1,153
法人税等	482	318
少数株主損益調整前四半期純利益	1,136	834
少数株主利益	17	22
四半期純利益	1,118	812

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,136	834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	394
繰延ヘッジ損益	70	△22
為替換算調整勘定	333	229
退職給付に係る調整額	—	154
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	642	757
四半期包括利益	1,778	1,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,760	1,564
少数株主に係る四半期包括利益	18	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。